

「蓮台寺柿」の摘果指導

三重・産地
振興連絡会
新規就農者へ丁寧

【三重・伊勢】蓮台寺柿産地振興連絡会は6月上旬、伊勢市の園地で「蓮台寺柿」の初摘果講習会を開いた。これから本格的に「蓮台寺柿」栽培に携わる新規就農者や、摘果について詳しい説明を希望する生産者を対



県中央農業改良普及センターの担当者から摘果の説明を受ける受講者

象とした。この日は22人が参加した。

参加者は、市内の集会所で講習を受けた。園地では、県中央農業改良普及センターの担当者から、摘果作業や翌年のための新梢（しんしょう）管理、病虫害防除の確認を行った。

「蓮台寺柿」は、同市勢田町で350年ほど前から栽培され、市の天然記念物に認定されている柿。「みえの伝統果実」や、県内の個性的でビジネス価値のある農林水産資源として「三重のバイオートレジャー」に選ばれて

いる。市場や消費者からの評判は高い。

担当者は「新規就農者らには、しっかりと基礎を学んでもらい、地域の活性化につなげてほしい」と話す。